

〔日本經緯度實測〕北極出地

紀伊 新宮 三三度四三分三〇秒

三浦 三四度一〇分〇〇秒

長島浦 三四度一二分三〇秒

和歌山 三四度一三分三〇秒

田邊 三三度四四分〇〇秒略中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略中

紀伊 和歌山 西〇度三四分三〇秒

〔紀伊續風土記提綱〕總論

本國は上國にして、南海道の首に居りて、近國なり、管する所總て伊都、那賀、名草、海部、在田、日高、牟婁、總て七郡延喜式和名抄七郡の疆界名號は、大抵孝德天皇の御世定め給ふなるべし、七郡統る所合せて五十三郷略註これ又大化年間より仁明天皇の御世略註比までに備はりしならむ、其七郡疆界の四至は、北は和泉河内二國と界し、夫より大和國吉野郡の西南東三面を繞りて、北の方伊勢と境を接し、其大形半壁の如く、東西及南の三面皆海に濱して、西は阿波土佐と海を隔て相對し、東南は大洋に向ひて際涯を知らず、和泉河内二國との堺、葛城の連峯列障の如くにして、其南に四郡東西に列せり、伊都郡其東首に在りて、大和國宇智吉野兩郡と接せり、略註伊都の西を那賀郡とす、那賀の西を名草郡とす、名草の西海濱にあるを海部郡とす、此四郡北に葛城あり、南に長峯あり、長峯とは東は大和國に起りて、西は海部郡に至りて海に入る連峯をいふ紀川其中央を貫きて西に流れて海に入る、舟行通する所十四五里、大和國に至れり、四郡の地の延袤を量るに、東西十三里許、南北六七里なり、又長峯の南に在るを在田郡とし、又其南にあるを日高郡とす、並に東は大和國十津川と界し、西の方海に瀕す、各大川ありて、其郡中を貫き、在田にあるを在田川といふ、舟行通する所五里、日高にあるを日高川といふ、舟行通する所七里、二郡の延袤南北十四里許、東西近き所十五六里、遠き所二